

こんにちは！小松茂則です(^^)
今週のモエル塾通信をお届けします。

テーマは本当の【無意識に「難しい！」と言ってませんか？】です。

こんにちは(^^)
久しぶりにカレーを妻に作ったら感激されて嬉しかった、小松茂則（こまつしげのり）です
^^

先日、グループコンサルで Tさんと話していると、質問に対する第一声がいつも「難しいです！」でした。
そのたびに、場の空気が少し重くなるのを感じました。

そこで私は提案しました。
「『難しい』じゃなくて、『簡単じゃない』と言ってみよう！」と。

実は、「難しい」という言葉には不思議な力があります。
それを口にした瞬間、なんとなく心が後ろ向きになり、思考が止まってしまうことが多いのです。

問題に向き合う場面で「難しい」と言われると、その言葉を受けた周りの人たちも動きが止まります。
「ああ、これは無理なんだ」と感じてしまうからです。

一方で、「簡単じゃない」と言い換えるとどうでしょう？
同じ状況を表しているのに、どこか前向きなニュアンスを持っています。
壁に見えたものが、越えられるハードルに変わる感覚です。

さらに、この言葉には笑顔を引き出す力があります。
誰かが「簡単じゃない」と言ったとき、場の空気が少し柔らかくなり、みんなが「どうすればいいか考えよう」と前向きになります。

その笑顔が、閉ざされていた思考の扉を開いてくれるのです。

たとえば、解けないと思っていた問題に直面したとき、「難しい」と言えば諦めがちです。
しかし、「簡単じゃない」と言えば、少しずつでも進んでみようと思えます。

一言の違いが、こんなにも大きな影響を与えるのです。

さあ、一緒に「難しい」から「簡単じゃない」へと言い換えてみませんか？
その先に、きっと笑顔と新しい発想が生まれるはずです！

さあ皆で「簡単じゃない (^^)」